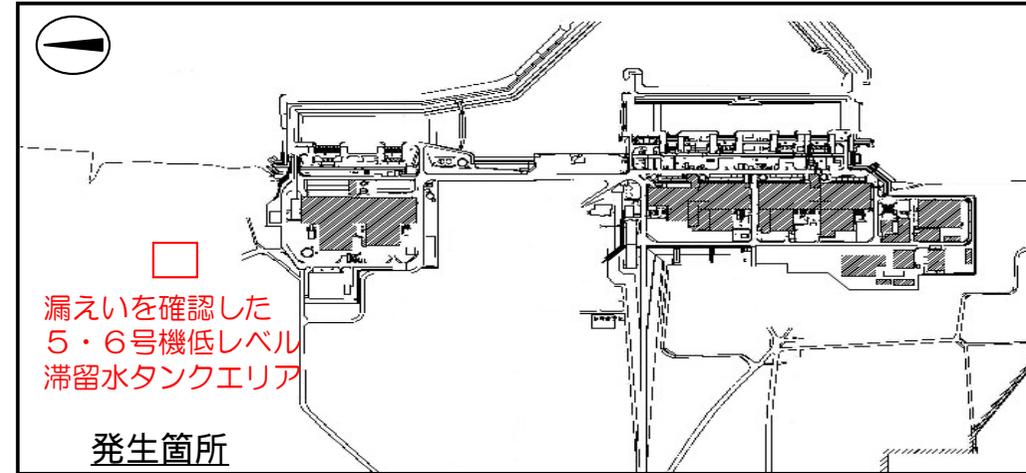


# 福島第一原子力発電所5・6号機RO装置処理水タンクにおける水漏れについて

- 確認日時  
平成25年5月17日午前8時55分頃
- 漏えい場所  
5・6号機側屋外に設置しているRO装置処理水タンク
- 状況  
・構内散水作業準備中の当社社員が、5・6号機側屋外に設置しているRO装置処理水タンク（D7タンク）から水が溢れていることを確認。その後、午前9時頃、弁を閉止したところ、水の漏えい停止を確認。  
・漏れた水は、構内散水に使用しているRO装置による処理後の水であり、地面（砂利）に約3m×約20mの範囲で染み込んでいるが、周辺に排水溝等はなく、海洋までの距離が約100mあることから、海洋への流出はないと判断。  
・漏えい量は27.5m<sup>3</sup>と推定。（昨日までの当該タンク水位と処理水の移送量から推定）
- 原因  
処理水タンクは合計8基（D1～D8）あり、昨日予定していたD7タンクからD8タンクへの切替操作を失念したことから、D7タンクより水が溢れた。
- 対策  
RO装置運転データ確認のチェックシートにRO処理水タンク切替に関する確認項目を追加し、RO処理水タンク切替の失念を防止する。
- 核種分析結果  
γ（代表）のセシウム137：検出限界値未満（検出限界値：1.5×10<sup>-3</sup>Bq/cm<sup>3</sup>）  
全β線放射能濃度：検出限界値未満（検出限界値：2.4×10<sup>-2</sup>Bq/cm<sup>3</sup>）

## ■福島第一原子力発電所構内図



## ■現場概要図

